BlueXPを使用する

BlueXP setup and administration

NetApp
August 18, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/bluexp-setup-admin/task-logging-in.html on August 18, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

BlueXPを使用する . . . 1
- BlueXPにログインします . . . 1
- BlueXPのユーザー設定を管理する . . . 3
  - 表示名を変更する . . . 3
  - 多要素認証を設定する . . . 4
  - MFA回復コードを再生成する . . . 4
  - MFA設定を削除する . . . 5
  - 組織管理者にお問い合わせください . . . 5
  - ダークモード（ダークテーマ）を設定する . . . 5

BlueXPを使用する

BlueXPにログインします

BlueXPへのログイン方法は、アカウントで使用しているBlueXP導入モードによって異なります。

"BlueXPの導入モードについて説明します"。

標準モード

BlueXPに登録すると、Webベースのコンソールからログインしてデータとストレージインフラの管理を開始できます。

このタスクについて

BlueXPのWebベースのコンソールには、次のいずれかの方法でログインできます。

- 既存のNetApp Support Site （NSS）のクレデンシャルを必要に応じて変更
- Eメールアドレスとパスワードを使用したネットアップクラウドへのログイン
- フェデレーテッド接続

  シングルサインオンを使用して、社内ディレクトリ（フェデレーション ID ）からのクレデンシャルを使用してログインできます。 "BlueXPでアイデンティティフェデレーションを使用する方法をご紹介します"。

手順

1. Webブラウザを開き、にアクセスします "BlueXPコンソール"
2. [ログイン*]ページで、ログインに関連付けられている電子メールアドレスを入力します。
3. ログインに関連付けられている認証方法に応じて、クレデンシャルの入力を求められます。
   - ネットアップクラウドクレデンシャル：パスワードを入力します
   - フェデレーテッドユーザ：フェデレーテッドアイデンティティクレデンシャルを入力します
   - NetApp Support Site アカウント：NetApp Support Site クレデンシャルを入力します

結果

ログインして、BlueXPを使用してハイブリッドマルチクラウドインフラを管理できるようになりました。

制限モード

制限モードでBlueXPを使用する場合は、コネクタでローカルに実行されるユーザインターフェイスからBlueXPコンソールにログインする必要があります。

このタスクについて

BlueXPでは、アカウントが制限モードで設定されている場合、次のいずれかの方法でログインできます。

- Eメールアドレスとパスワードを使用したネットアップクラウドへのログイン
- フェデレーテッド接続

  シングルサインオンを使用して、社内ディレクトリ（フェデレーション ID ）からのクレデンシャルを使用してログインできます。 "BlueXPでアイデンティティフェデレーションを使用する方法をご紹介します"。

手順

1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力します。

https://ipaddress

_ipaddress_には、コネクタをインストールしたホストの構成に応じて、localhost、プライベートIPアドレス、またはパブリックIPアドレスを指定できます。たとえば、コネクタホストに接続されているホストからプライベートIPアドレスを入力する必要がある場合があります。

2. ログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。

結果

ログインして、BlueXPを使用してハイブリッドマルチクラウドインフラを管理できるようになりました。

プライベートモード

BlueXPをプライベートモードで使用する場合は、コネクタでローカルに実行されるユーザインターフェイスからBlueXPコンソールにログインする必要があります。

このタスクについて

プライベートモードでは、ローカルユーザの管理とアクセスがサポートされます。BlueXPのクラウドサービスでは認証が行われません。

手順

1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力します。

https://ipaddress

_ipaddress_には、コネクタをインストールしたホストの構成に応じて、localhost、プライベートIPアドレス、またはパブリックIPアドレスを指定できます。たとえば、コネクタホストに接続されているホストからプライベートIPアドレスを入力する必要がある場合があります。

2. ログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。

結果

ログインして、BlueXPを使用してハイブリッドマルチクラウドインフラを管理できるようになりました。

BlueXPのユーザー設定を管理する

パスワードの変更、多要素認証 (MFA) の有効化、BlueXP 管理者の確認など、BlueXP プロファイルを変更できます。

BlueXPでは、各ユーザーにはユーザーとその設定に関する情報が含まれるプロファイルがあります。プロフィール設定を表示および編集できます。

表示名を変更する

表示名を変更できます。表示名はBlueXPコンソールでユーザーを識別するために使用され、他のユーザーに表示されます。表示名はユーザー名やメール アドレスとは異なります。ユーザー名やメール アドレスは変更できません。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. 名前の横にある*編集*アイコンを選択します。
3. 名前 フィールドに新しい表示名を入力します。

多要素認証を設定する

多要素認証 (MFA) を構成して、パスワードによる 2 番目の検証方法を要求し、アカウントのセキュリティを強化します。

外部IDプロバイダーまたはNetAppサポートサイトを利用したシングルサインオンを使用しているユーザーは、MFAを有効にできません。これらのいずれかに該当する場合、プロファイル設定にMFAを有効にするオプションは表示されません。

BlueXP APIアクセス用のユーザーアカウントの場合は、MFAを有効にしないでください。ユーザーアカウントで多要素認証を有効にすると、APIアクセスが停止されます。すべてのAPIアクセスにはサービスアカウントを使用してください。

作業を開始する前に

- Google Authenticator や Microsoft Authenticator などの認証アプリをデバイスにダウンロードしておく必要があります。
- MFA を設定するにはパスワードが必要です。

認証アプリにアクセスできない場合、または回復コードを紛失した場合は、BlueXP 管理者に問い合わせてください。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. *多要素認証*ヘッダーの横にある*構成*を選択します。
3. 指示に従ってアカウントの MFA を設定します。
4. 完了すると、リカバリコードを保存するように求められます。コードをコピーするか、コードを含むテキストファイルをダウンロードしてください。このコードは安全な場所に保管してください。認証アプリにアクセスできなくなった場合は、回復コードが必要になります。

   MFA を設定すると、BlueXP にログインするたびに、認証アプリからワンタイム コードを入力するように求められます。

MFA回復コードを再生成する

リカバリコードは一度しか使用できません。使用済みまたは紛失した場合は、新しいコードを作成してください。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. 選択 ••• *多要素認証*ヘッダーの横にあります。

3. *リカバリコードの再生成*を選択します。
4. 生成されたリカバリコードをコピーして安全な場所に保存します。

MFA設定を削除する

BlueXPアカウントで多要素認証（MFA）の使用を停止するには、MFA設定を削除してください。これにより、ログイン時に認証アプリからワンタイムコードを入力する必要がなくなります。

> 認証アプリまたは回復コードにアクセスできない場合は、BlueXP 管理者に連絡して MFA 構成をリセットする必要があります。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. 選択 ••• *多要素認証*ヘッダーの横にあります。
3. 「 * 削除」を選択します。

組織管理者にお問い合わせください

組織の管理者に連絡する必要がある場合は、BlueXPから直接メールを送信できます。管理者は、組織内のユーザー アカウントと権限を管理します。

> *管理者に連絡*機能を使用するには、ブラウザにデフォルトの電子メール アプリケーションが設定されている必要があります。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. 組織の管理者にメールを送信するには、[管理者に連絡] を選択します。
3. 使用する電子メール アプリケーションを選択します。
4. メールを終了し、[送信] を選択します。

ダークモード（ダークテーマ）を設定する

BlueXP をダークモードで表示するように設定できます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上隅にあるプロフィール アイコンを選択して、ユーザー設定パネルを表示します。
2. ダーク テーマ スライダーを動かして有効にします。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。